

災害

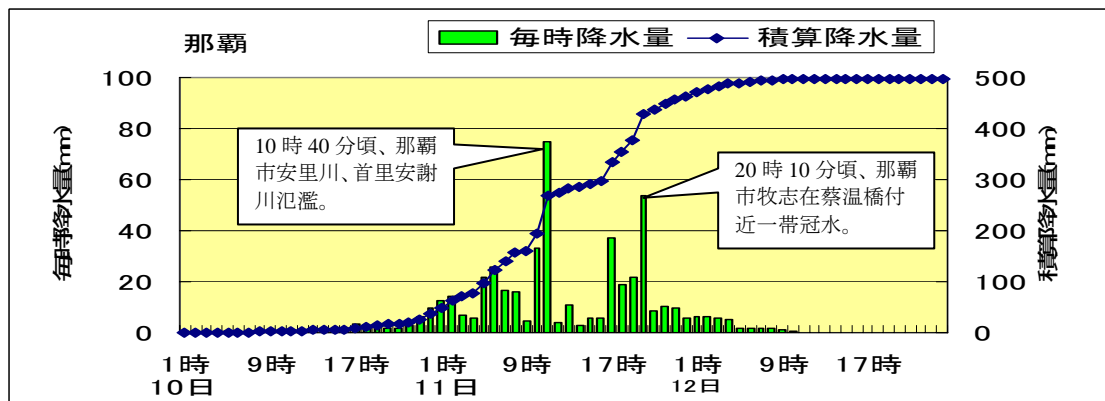
沖縄・那覇市内が冠水！

那覇市国際通りの冠水



沖縄気象台 提供

8月10日から12日にかけて熱帯的気圧が東シナ海を北上し、南シナ海からの暖かく湿った空気が太平洋高気圧の縁に添って流れ込んだため、11日を中心に沖縄本島地方に大雨をもたらした。最大1時間降水量は、那覇市桶川で84.5ミリ（11日10時40分）、最大24時間降水量は、那覇市桶川で433ミリ（11日22時40分）を観測し、8月の歴代1位を更新した。なお、那覇市桶川の11日の日降水量427.5ミリは、200年に1回の頻度で発生する大雨となった。沖縄県の8月13日9時現在の発表によると、沖縄本島では床上浸水64件、床下浸水22件の被害が発生している。（資料1：沖縄気象台）



写真提供：沖縄気象台

資料提供：沖縄気象台「降水量の経過図（平成19年8月10日から12日）那覇」

参考資料：資料1 沖縄気象台「平成19年8月10日から12日にかけての沖縄本島地方の大雨について（速報）」H19.8.13

謝辞：上記の皆様のご協力とご理解に感謝申し上げます。

当会、発行物における文章・画像の著作権は当会及び個人、又は第3者に属しており、無断での複写・転用を固くお断りいたします。

2007年9月20日現在。今後、更新されることがあります。